

# 混合病棟における生活療法の現状と見直しについての考察

## 1 階東病棟

○森沢 陽子・他看護婦一同

### I はじめに

精神障害者の最近の治療には、薬物療法、精神療法、特殊身体療法、生活療法などがある。この中で特に生活療法においては、24時間日常生活を共にする看護婦の役割が大きい。生活療法の基本は生活指導にあり羽生り<sup>1)</sup>は「患者の持つ狭い意味の精神症状のみでなく、それに伴う生活活動のあり方を観察しつつ、働きかける看護が生活指導であり、精神科看護の基本といえるものである」と述べている。

当精神科には、分裂病や躁うつ病などの急性期の患者が多い。彼等は行動異常や自発性、疎通性の欠如により、社会生活が不適當となり無為好癖的に過ごす傾向にある。

今回、当病棟において日常的に行っている生活療法の現状を見直し、看護婦の役割について検討をしたので報告をする。

### II 病棟紹介

当病棟は、神経科・精神科40床と放射線科5床からなる混合病棟であり、その中で閉鎖病棟と一般病棟に別れている。看護婦は、婦長ほか閉鎖病棟看護婦7名、一般病棟看護婦7名の計15名と、看護助手1名である。看護方式は、チームナーシングと受けもち制の併用である。

精神科には、急性期の分裂病や躁うつ病が多く、他にADL全面介助を必要とする痴呆患者や、思春期精神障害、神経症などの患者を収容している。年齢層も青年期から老年期まで幅広い。神経科には、亜急性硬化性全脳炎など常時観察を必要とする重症患者や、寝たきり患者が数名いる。放射線科には、ターミナルケアやRI治療の必要な患者がいる。そのため、病棟全体の雰囲気や、精神科の日課や行事に合わせるができない。

### III 当精神科における生活療法の現状

生活療法とは、生活指導、レクリエーション療法、作業療法を総括して言う。その目的は、生活行動をより健康的な方向へ誘導し、そこでの生活体験を通して患者の社会性を高め、社

会復帰へ導くことにある。

当院における生活療法としては、レクリエーション、農園作業、ラジオ体操、環境整備、シーツ交換などを行っている。

レクリエーション(以下レクと略す)は、週4日、午前中の1時間を当てていたが、本年5月より、医師の業務の都合もあって、午後に変更となっている。レクの内容は、表1の8月のレク予定表に示すとおりである。当日のレク係は、看護婦1名と医師1名が担当していたが、本年度から、看護助手が配属されたことにより、遅出業務担当看護婦も参加できるようになっている。参加患者数は約10名ぐらいで、その日のレク内容によって参加率が異なっている。若い患者は卓球やバトミントンなどのスポーツを好み、高齢者は、習字や折り紙などの文化的なものを好む傾向にある。

年間レク行事は、表2のような内容である。閉鎖病棟の患者や車椅子移動の患者も参加するため、医師や看護婦が多く参加できる日を選んで行っている。患者の家族の参加もあり、盛り上がりの楽しい行事の中で、医師や看護婦と患者の家族との交流も深まり、家族からの相談を受けたり、家族指導のよい機会となる重要な行事である。また、反省会をその都度持ち、今後の活動に役立てている。

農園作業は、表1のようにレク時間内で、月2～4回年間計画にそって行っている。患者は短期入院が多く、例えば、球根を植えても花が咲く喜びを味わう前に退院したりで、作業は草ひき程度に終わっている。また、農園作業の嫌いな患者は避ける傾向にある。

ラジオ体操は毎朝10時30分に行う。開始前に看護婦が各病室を回り参加を促している。8～9割の患者が参加できているが、「しんどい」と訴え参加しない患者もみられる。

シーツ交換と環境整備は、病院業務作業を治療的に利用したもので、看護婦と看護助手が各病室を回り、個人的に観察・指導をするようにしているが、中にはしたくないため、その時間帯に不在となる患者もいる。洋式寝具のシーツ交換に困惑する患者もいるが、看護婦と一緒にいたり、患者同志お互いに助け合い、触れ合いの場となっている。

患者へは、日課にそった生活が送れるよう働きかけているが、「退屈な」、「することがない」など自由時間がうまく使えないことを訴える患者や、日常の基本的な生活が自立していない患者、無為好癖的に過ごす患者がいる。このような患者に対して、患者と看護婦の話し合いで、個人の日課表や日常生活チェック表を作成している。しかし、退院まで一貫した生活指導はできておらず十分な効果を上げていない。

一般病棟の看護婦は、精神科、神経科、放射線科を同時に受け持つため、重症患者の観察、

処置、ケアに携わっており、精神科の日課やレクにほとんど参加できていない状態である。

#### Ⅳ 現状の見直し

現状から、次の問題点とその対策が考えられる。

##### 1. 問題点

- 1) 患者の年齢層が幅広く、レク内容によって参加率が異なる。
- 2) 当日になってから、レクの準備に取りかかることが多い。
- 3) 農園作業では、収穫の喜びを味わうことが少なく、作業の嫌いな患者は、避ける傾向にある。
- 4) 一般病棟看護婦が、日課やレクにほとんど参加できていない。
- 5) 日課の時間帯に、病棟内にいない患者がいる。
- 6) 入院から退院まで継続した生活指導が効果的に行われていない。

##### 2. 対策

- 1) 患者の年齢、性別、好みなどにあったレク内容を考慮する。また、患者と一緒に、毎月のレク計画を立てる。
- 2) その日のレク担当者は、前もって細かな方法、注意点を考えて準備しておく。
- 3) 農園では、短期で収穫、開花の可能な品種を選ぶ。
- 4) 農園作業の嫌いな患者には、根気よく働きかけ、馴染みややすい作業から分担させてみる。
- 5) 一般病棟看護婦1名が、日課やレクに専念できるように、その日の業務分担を工夫する。
- 6) 受け持ち看護婦は、入院から退院まで継続した生活指導の計画立案、評価、修正を行うとともに、スタッフ全員に計画内容を徹底する。

#### Ⅴ 考 察

本来、レクリエーション療法と作業療法は目的が異なるが、当病棟では一括してレク活動として位置付けられている。そのような現状の中で看護婦がそれぞれの意義を混同して捕らえている傾向がある。それは、レクリエーション療法と作業療法について学習不足であり、それぞれの意義を認識できていなかったためと思われる。その日の担当看護婦のレク、作業への認識不足により、患者に対しても適切な働きかけができていなかったと考えられる。そ

のため、患者も自分にとって楽しい活動には参加するが、嫌いな農園作業などへは参加が少なかったのであろう。

レクの時間帯の変更により、医師、看護婦、患者ともに、検査や処置のために不参加となることや、途中で中断することが少なくなった。さらに、看護助手の配置で配茶やメッセージ業務などから看護婦が解放されて、時間的余裕ができ、レク担当の看護婦を1名増やすことができた。この結果、患者への働きかけが以前より密になり、患者の興味を引き出しレクを活気付けることができるようになってきている。

また、一般病棟の看護婦は、重症患者の観察や処置、ケアに追われがちであり、ラジオ体操、レクなどの日課への参加がほとんどできない状況ではある。しかし、精神科看護に最も必要なのは、患者に近付き信頼関係の中で援助することであり、日常生活の一つ一つの働きかけからそれは築かれ深められるものである。毎日の日課は患者とスタッフが同じ時間を共有し、活動するという非常に大きな意味を持つものであると考えられる。そのため全面的な参加は困難でも、患者に声掛けしていくことから始めていかなければならない。

当大学病院の特徴として、急性期で短期入院の患者が多い。中沢<sup>2)</sup>は「これからは生活療法に急性期からのリハビリテーションの考え方が導入されないと、生活療法の概念や方法も中途半端なものに終始するだろう」と述べている。急性期の患者には、集団的な生活療法は適切でない場合もあるが、個別的なアプローチは不可欠である。そのためには、個人の日課表を活用しなければならない。これまで、日課表が効果を上げていなかったのは、目先の業務に追われて継続したフォローができていなかったためと考えられる。日課表を社会復帰に向けて活用するためには、受け持ち看護婦が患者の個別性を踏まえた看護計画を立て、入院から退院まで継続した生活指導の評価、修正を行う必要があると考えられる。

## Ⅶ おわりに

当病棟における生活療法の現状を見直し、看護婦の役割について検討した。今回は実施するまでにはいたらなかったが、混合病棟の中で、より効果的な生活療法を目指して、この研究で学んだことを看護業務に役立てていきたい。

## 引用・参考文献

- 1) 田村春雄編：リハビリテーション医学全書9，作業療法総論，医歯薬出版，p. 78～80，1978.

- 2) 加藤正明監修：精神保健実践講座①精神保健と精神科医療，中央法規出版，p. 190～191， 1989.
- 3) 加藤正明監修：精神保健実践講座，精神保健とリハビリテーション活動，中央法規出版， 1989.
- 4) 石谷直子：臨床精神医学叢書 8，精神科作業療法，星谷書店， 1986.
- 5) 小倉一春：暮らしの場と看護活動，メヂカルフレンド社， 1988.
- 6) 井上正吾編：リハビリテーション医学全書 22，精神障害，医歯薬出版， 1980.
- 7) 原 武郎編：リハビリテーション医学全書 10，作業療法各論，医歯薬出版， 1978.

表1 月間スケジュール(例：平成3年8月)

曜日	日付	内 容	日付	内 容	日付	内 容	日付	内 容	日付	内 容
月			5	習 字	12	喫茶ツアー	19	卓 球	26	スカッシュ バレー
火			6	バドミントン (体育館)	13	室内ゲーム	20	農 園	27	紙粘土 (色塗り)
木	1	卓 球	8	ビデオ(前)	15	写生(1)	22	紙粘土	29	お茶会
金	2	農 園	9	ビデオ(後)	16	写生(2)	23	散 歩	30	習 字

表2 年間行事

月	行事名	主な内容
4月	お花見	院内でお花見をしながらお弁当を食べる
5月	ウォークラリー	病院周辺の野山で行う
6月		
7月	七夕様	七夕の飾りつけをする 夜店を出す。花火を上げる
8月		
9月	野外炊飯	野外でカレーライスを作って食べる
10月	運動会	デイケア仲間も参加する
11月	みかん狩り	近郊のみかん園へバスで出かける
12月	クリスマス会	ツリーを飾る。クッキーを焼く ゲーム・合唱
1月	ボーリング大会	バスでボーリング場へ出かける
2月	節分	豆まき・ゲーム
3月	雛祭り	雛人形を飾る。カラオケ・ゲーム

(平成3年11月21～22日、高知にて開催の第16回日本精神科看護技術  
協会四国地区学会で発表)